



かわら版

NO. 16

多度地区小中一貫校整備事業 『開校準備委員会』 発足

昨年度、地域協議会において、基本計画の策定に向けて協議・検討を重ねていただきました。今年度より「開校準備委員会」を発足し、開校までの4年間をかけて、より具体的に、開校に向けた施設整備・学校運営・地域連携に関する事などについて協議・検討いただきます。

◆第1回開校準備委員会 7月17日（土）13時30分～、多度まちづくり拠点施設

市長の挨拶では、市内で初めての施設一体型小中一貫校の開校に向けて立ち上げられたこの委員会に寄せる期待がありました。委員は、地域・保護者・学校の代表者など総勢22名で構成されており、昨年度の地域協議会で話し合われた内容等を共有した後、委員長は名古屋市立大学大学院教授の鈴木賢一委員、副委員長は多度東小学校長の古川千登世委員が選出されました。

開校準備委員会の委員構成

学識経験者、教育関係者、多度地区五連合自治会長、多度地区小・中学校PTA会長、多度地区小・中学校長、元地域協議会委員、桑名郡市校長会代表、桑名郡市教職員代表、教育長



<第1回 開校準備委員会の様子>



<市長挨拶>

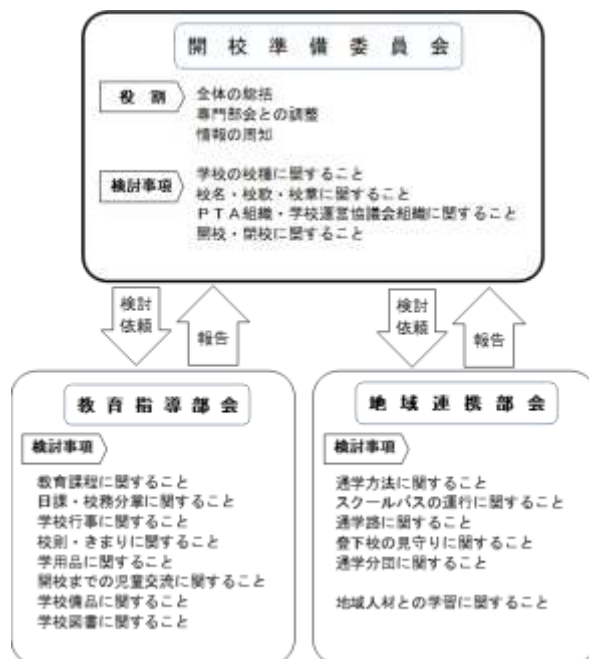
令和7年4月の開校に向けてスムーズなスタートが切れるように、「開校準備委員会」が全体を総括し、学校運営に関する内容については「教育指導部会」、子どもたちの登下校等の内容等については「地域連携部会」の二つの専門部会を設置すること、地域・保護者・教職員の方々より意見をお聴きする機会を設けながら検討を進めることなどが承認されました。

文部科学省も“令和の日本型学校教育”として「義務教育の9年間を見通した教育の在り方」などを示しております。桑名市内で初めての

の施設一体型小中一貫校を開校するにあたり、様々な検討内容がある中、今年度の開校準備委員会では、どのような学校運営組織で臨むと子どもたちの学びと育ちをつなぐ9年間を見通した教育に有効かということについて話し合っています。今回は、その1回目ということで、委員の皆様より率直な思いを出し合っていました。

なお、会議の概要は桑名市ホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。

多度地区小中一貫校整備事業
開校準備委員会・専門部会 検討体制



<委員長講評>

4年後の令和7年4月開校を目指して開校準備委員会がいよいよスタートしました。昨年度までの地域協議会の議論を踏まえ、具体化へのステージです。小学校の統合だけでも大変なところに、施設一体型小中一貫校あるいは義務教育学校と、次々提示される新しい考え方に不安を感じるのは当然です。だからこそ多様な立場の方々による議論を必要としています。この会は開校に向けての課題解決の場であり、同時に不安解消の場でもあります。不安を乗り越え希望を示す桑名の先導的プロジェクトであってほしいと願います。多度の力を結集し、ワンチームとなって新しい時代と世代にふさわしい「地域と学校」づくりに取り組みましょう。



鈴木賢一委員長

桑名市ホームページ：www.city.kuwana.lg.jp

ホーム→ 市政→教育委員会・多度地区小中一貫校→多度地区小中一貫校整備事業 開校準備委員会について

計画地では

◆埋蔵文化財包蔵地の試掘調査終了

地権者の皆様のご理解のもと、6月より事業者による試掘調査を行いました。順調に作業が進み、7月末で試掘作業は終了しました。

この試掘調査の結果をもとに、今後の事業計画に合わせて発掘調査の方法や範囲等について検討して参ります。



今回の調査で見つかったもの



試掘作業の様子

◆授業の一環として、試掘の様子を見学した多度中小学校の6年生

『試掘調査』という作業を間近で見られる機会はめったにないので、子どもたちに見せてあげたい」という申し出があり、7月19日に、多度中小学校の6年生が試掘作業の様子を見学しました。子どもたちは、桑名市ブランド推進課職員の説明を聞いた後、過去に発掘されたものを見せてもらいました。中には、「触っていいですか？」と興味深々の児童もいました。



桑名市職員の説明を聞く児童たち



(見学の様子より)

暑い日でしたので、日傘をさして話を聞きました。

一生懸命作業する人たちの様子を真剣に見学していました。

見つかった土器のかげら（袋に入れた状態のもの）を1人1人手に取って見ることができました。

今後の学校施設の整備に向けて

令和7年4月の開校を目指し、今まで積み上げてきた地域・保護者・学校の思いや市のプランを十分に組み入れた学校施設の設計・施工を行っていきます。そこで、より良い学校施設の設計・施工を行える事業者を選定するため、学校づくりの設計条件などを整理し、令和4年の早期に事業者の公募を進めていきます。（これら設計条件を整理するため、桑名市に対し技術や法令等の専門的見地から支援を行う事業者を「株式会社百五総合研究所」に決定しました。）

今後は、昨年度策定した基本計画をもとに、具体的な図面にしていくなどの作業が始まります。そこで、地域や保護者の皆さまから学校施設に関するご意見等をお聞きするためのワークショップを9月下旬に開催する予定です。（なお、詳細は、別紙参加申込書をご覧ください。）9年間のつながりと交流を大切にした『丘の上の学び舎』にふさわしい学校づくりができるよう、皆さまのご意見等をお聞きしながら作業を進めて参ります。

令和7年4月開校を目指す多度地区小中一貫校

計画地の場所と面積

～基本計画より～

小中一貫校のコンセプト



多度中小学校と小学校南西部のおよそ6ha

『つながり』ではぐくむ

子どもたちの「学び」と「育ち」

大切にしたい3つの観点

